

事務事業名	はが路ふれあいマラソン参画事業				担当	教育委員会 スポーツ振興課 指導係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名	V-7 スポーツによるもおが創生の推進		
施策名	4	生涯スポーツ・レクリエーションの振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	法令外負担金					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成26年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費	1. 保健体育総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	平成26年（2014年）に、2020年東京オリンピック開催に向けた行動の一環として、地域住民のスポーツ参加意欲の向上と芳賀都市のPRと活性化に寄与する事業として飛足した。「はが路ふれあいマラソン」は、真岡市の井頭公園をスタートし、芳賀都市を周回してゴールするコースで、42.195キロのフルマラソンである。 実行委員会 36名 実行委員長：芳賀町長 参加費 6,000円 参加募集2,500名（地元300名、一般2,200名） 事務局 芳賀町（2年毎持回り）							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 29年度実績 実行委員会の開催 第4回ははが路ふれあいマラソン 平成29年12月17日開催 大会実施運営の協力、手配（コース交通誘導、運営協力など）  30年度計画 前年度と同様 第5回ははが路ふれあいマラソン 平成30年12月16日開催予定	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア 負担金額	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ 実行委員会開催数	回	3	2	3	3	3
	ウ マラソン参加者数	人	2,318	2,515	2,550	2,531	2,500
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民、市民以外のマラソン愛好家	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：市民数	人	80,698	80,590	79,422	79,542	79,414
	イ						
	ウ						
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） マラソンを通して市民の健康づくりや参加者とのふれあいの場とする。 郡内1市4町の連携と全国へのPRを図る。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：市民参加者数	人	167	153	128	137	150
	イ：県内の参加者数	人	919	923	1,050	1,107	1,100
	ウ：県外の参加者数	人	1,232	1,439	1,500	1,424	1,250
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 市民ひとり1スポーツの推進と生涯スポーツの振興を図る。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
	ア：市民の参加率	%	7.2	6.1	5.0	5.4	6.0
	イ：スポーツレクリエーションをしている市民の割合	%	47.3	60.7	59.3	58.5	
	ウ						
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	1,000
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,000	2,000	2,000	1,000	
	事業費計(A)	千円	2,000	2,000	2,000	2,000	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	1,440	1,200	1,200	1,200
		人件費計(B)	千円	6,078	5,028	4,984	4,980
トータルコスト(A)+(B)		千円	8,078	7,028	6,984	6,980	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成26年（2014年）に、2020年東京オリンピック開催に向けた行動の一環として地域住民のスポーツ参加意欲の向上と、芳賀都市のPRと活性化に寄与する目的として「はが路ふれあいマラソン」が開催された。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	事業開始に際しては、交通規制に伴う地元関係の理解や、関係機関との調整に時間を要した。 このマラソンでは、公認コースの取得申請が済みであるが、日本陸連公認大会の取得が未だのため、公認取得に向けた課題解決を進めている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	第4回開催大会については、ランナーのクチコミによるマラソン大会レポート総合評価満足度で、93.4点（100点満点）の評価を得ており、全国10位のランキングと好評を得ている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある マラソンの参加は、市民ひとり1スポーツの推進と生涯スポーツの振興が進むことであり、市民の健康づくりや体力づくりの観点から結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市民の参加と郡内地域住民、郡外のマラソン愛好者とのふれあいの場の提供、そして真岡市のPRの場となっており、生涯スポーツの振興を図るための事業として実施している事業に参画しているため妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 市民、市民以外のマラソン愛好者などを対象とし、市民の健康づくりや地域住民とのふれあいの場としての事業に参画しているため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある スポーツの振興と市のPRを行っている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 郡内1市4町が連携した事業の参画であり、廃止は難しい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない フルマラソンであり、類似事業はない。  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は、決められた負担金のため、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 大会実施運営に係る各市町の必要最低限の人件費のため、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 参加料を徴収している。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							